



地域を変える

NEW

POWER!!

地域おこし協力隊

細野 達也さん



肝付町の皆様こんにちは！地域おこし協力隊の細野達也です。肝付町に来て一年がたち、顔見知りも増え、町内の生活を満喫しています。最近、自宅で燻製に挑戦してみました！ソーセージ、ゆで卵、ミックスナッツ、ポテトチップスなど。燻製の本物の味を知らないのでは、成功したかどうかは定かではありませんが、ソーセージは抜群に美味しかったです！



さて、5月に固定資産税の通知書を受け取った方が多いのではないのでしょうか？誰も住んでいない家に対しての支払いを重荷に感じている人も多いのでは…。そこで今回、空き家バンクのチラシと一緒に入れさせていただきますました。

チラシの効果もあり、移住サポートセンターには、空き家バンクへの登録相談が一気に増えました！「10年以上放置している空き家だけでも登録できますか？」「家財が残っているけど大丈夫ですか？」「畑が空き家の横にあるけど、一緒に売却できますか？」「不動産業者にもお願いしますか？」

しているけど、なかなか売却先が決まらないので空き家バンクにも載せられるか」など。空き家に困っている所有者の方々が大勢いらっしゃる事を改めて感じています。

空き家バンクへの登録は、不動産会社が仲介していても登録OK！家財が残っていても問題なし！屋根、柱に問題がなく、購入者がリフォームして住めるような家なら登録可能です。ただし、空き家バンクへ登録したからといって、町が空き家を管理するわけではありません。空き家情報を探している方に向けて情報発信し、購入希望者を見つけるお手伝いをするのが私の仕事です。売却先が決まるまでは、所有者が管理していく責任があり、固定資産税も払っていく必要があります。

ご両親から受け継いだ家を、自分の代で手放すのは抵抗がある…という方も多いとは思いますが、空き家を放置しても良い事は1つもありません。ポロポロになるまで家を放置しておくよりは、家が必要としている方に住んでもらって、家をその場に残していくという考え方をしても良いのかもしれない。空き家バンクの登録相談は随時受け付けていますので、まずはお気軽にご相談ください！

今回も最後までお読みいただきありがとうございました。

## 消費生活相談

## 家庭用蓄電池の契約 先々の負担も考慮して！

### 相談事例

現在自宅にソーラーパネルを設置している。そのメンテナンスをすると訪問して来た人から「電気料金も年々上がっているの、蓄電池を購入しないか」と勧められ、約250万円を13年の分割払いで支払うという契約をした。しかし、よく考えたら、自分たちも歳を取っており、支払いも難しくなるので、高額な契約はやめたほうがよいと思った。解約したい。



### ●一言助言●

- ・家庭用蓄電池の導入で、電気料金が安くなる等のメリットがあるとしても、購入費用や設置工事等の初期費用の他、ローンの利息、メンテナンス費用など様々な費用が発生します。契約に当たっては、先々かかるコストも考慮し、慎重に検討し、納得した上で契約しましょう。
- ・家庭用蓄電池は、災害時に活用できるなどの経済価値に換算できないメリットもあります。自分自身でも情報収集し、総合的に判断しましょう。
- ・設置する場合は、複数社から見積もりを取り、比較検討した上で契約することが大切です。

消費生活相談

■困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください

消費生活相談窓口（鹿屋市消費生活センター） ☎ 0994(31)1169 消費者ホットライン ☎ 1 8 8

